

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">英語学演習 1</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部英米3 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">田畑 智司</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">英語のスタイルを感じ取る (基礎編)</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>新聞, 広告, 小説, ビジネス文書, 公文書, Eメール, ブログ, 大統領就任演説, ホワイトハウスの記者会見, 製品発表キートンスピーチ, などなど様々なジャンルの英語を分析対象に, 言語学と情報科学の知見を応用して, いかなる英語のスタイルが選択・使用されているか, また, その理由や, 効果はどのようなものかを感じ取る鑑賞眼を養う。</p>		
<p>評価方法</p> <p>学期末試験の成績, および授業中の積極的な発言, 発表により評価する。その他, 随時レポートを課し, その内容も考慮する。</p>		
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">『英語の作法—The Art of English—』</p>	<p>著者</p> <p style="text-align: center;">斎藤 兆史</p>	<p>出版社</p> <p style="text-align: center;">東京大学出版会</p>
<p>参考書</p> <p style="text-align: center;">『小説の文体—英米小説への言語学的アプローチ』</p>	<p>著者</p> <p style="text-align: center;">笥 寿雄(監訳), 石川 慎一郎(訳), 広野 由美子(訳), 瀬良 晴子(訳)</p>	<p>出版社</p> <p style="text-align: center;">研究社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. スタイルとは 3. スタイルのレベル 4. スタイルと選択 5. スタイルと頻度 6. 音のスタイル 7. 語のスタイル1 8. 語のスタイル2 9. 節・文のスタイル1 10. 節・文のスタイル2 11. 談話のスタイル1 12. 談話のスタイル2 13. 繰り返し(repetition)とスタイル 14. 変奏(variation)とスタイル 15. Round up Part 1 		